

令和元年第4回町議会定例会

【会期：12月13日～20日】

本会議の審議の結果は次のとおりです。






議案等表決結果一覧表

◆全会一致で可決、承認した議案

議案番号	件名	議決の結果
承認第9号	専決処分第6号の承認を求めることについて（損害賠償の和解について）	原案承認
第57号議案	愛南町税条例の一部改正について	原案可決
第58号議案	愛南町集会施設条例の一部改正について	原案可決
第59号議案	愛南町道路占用料徴収条例の一部改正について	原案可決
第60号議案	愛南町水道事業給水条例の一部改正について	原案可決
第61号議案	愛南町廃棄物の適正処理及び清掃等に関する条例の一部改正について	原案可決
第62号議案	愛南町特別職の職員で常勤のものとの給与及び旅費に関する条例等の一部改正について	原案可決
第63号議案	愛南町会計年度任用職員の給与及び費用弁償に関する条例の制定について	原案可決
第64号議案	R元網代漁港漁村再生交付金工事請負契約の変更について	原案可決
第65号議案	R元魚神山漁港海岸保全施設整備工事請負契約の変更について	原案可決
第66号議案	令和元年度愛南町一般会計補正予算（第4号）について	原案可決
第67号議案	令和元年度愛南町国民健康保険特別会計補正予算（第2号）について	原案可決
第68号議案	令和元年度愛南町介護保険特別会計補正予算（第2号）について	原案可決
第69号議案	令和元年度愛南町浄化槽整備事業特別会計補正予算（第1号）について	原案可決
第70号議案	令和元年度愛南町温泉事業等特別会計補正予算（第1号）について	原案可決
第71号議案	令和元年度愛南町公共用地先行取得事業特別会計補正予算（第1号）について	原案可決
第72号議案	令和元年度愛南町上水道事業会計補正予算（第3号）について	原案可決
第73号議案	令和元年度愛南町病院事業会計補正予算（第3号）について	原案可決
第74号議案	愛南町第二期町営浄化槽整備推進事業契約について	原案可決
発議第4号	愛南町議会の議員の定数を定める条例の一部改正について	原案可決
発議第5号	愛南町議会委員会条例の一部改正について	原案可決
発議第6号	愛媛県立南宇和病院の存続と機能強化に関する決議	原案可決

一般質問

3名の議員が一般質問を行いました。

議員氏名	質問事項
 土居 尚 行 <small>なほ ゆき</small>	①豪雨時の町内河川の防災対策について ②あけぼのグラウンド下の町有地を宅地分譲して人口増加へつなげる考えはないか
 西 口 孝 <small>たかし</small>	①愛南町内各地に伝えられている郷土芸能等の保存伝承について ②県立南宇和病院の存続、充実について
 金 繁 典 子 <small>のり こ</small>	①県立南宇和病院について国が公的病院再編・統合の対象と発表したことに関する今後の対応について ②来年度の当初予算編成方針について ③犬・猫引き取りと殺処分の削減に向けた国、県の方針と、愛南町における現状と取り組みについて

詳しくは、次回定例会までに町ホームページに公開予定の会議録によりご確認ください。なお、議会のインターネット中継は町ホームページから専用サイト(愛媛CATV)にアクセスして録画中継をご覧ください。



愛媛CATV
ホーム
ページ

産業厚生常任委員会所管事務調査報告

【宇和海アコヤ貝大量死の現状と対応について】

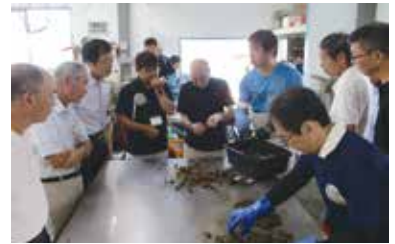
宇和海アコヤ貝大量死の現状と対応について、机上審査の上、町内真珠母貝養殖業者と愛南町海洋資源開発センターを現地視察し取りまとめた結果を、鷹野正志委員長が報告しました。

【調査結果（概要）】

8月上旬から愛南町で確認された真珠貝大量へい死は、全国的にも真珠母貝の主要生産地である本町にとって、基幹産業を揺るがすだけでなく、真珠業界をも脅かす大きな問題です。町水産課と愛南漁協が連携し、いち早く「愛南町真珠貝斃死対策会議」を立ち上げ、現状把握、原因究明、今後の対策について組織的に進めており、内海地域における7月中旬から8月中旬のへい死状況は、稚貝60%、母貝16%とのことでした。症状は、貝殻の内側を覆う外套膜が縮んで死んでしまうというものですが、原因については、水温の急激な変化、餌の減少などの環境変化や、感染症などを視野に多方面から調査しているものの、本委員会の調査時点においては解明されていません。

当委員会では、10月4日(金)に、内海地域の網代、油袋、家串の生産組合員の現地調査を実施し、現場の生の声を聞かせていただきました。どの地区の生産者も、「へい死の原因究明」を第一に望まれていました。10月2日(水)に「愛媛県アコヤガイへい死対策協議会」が設立されましたが、当委員会として、専門的な研究機関での早期原因究明を求めます。また、一部回復の兆しはあるものの、次期の母貝不足や外套膜萎縮により貝殻が内部変形した状態で玉入れした場合の真珠の品質と作業性を懸念する声、また今でも予断を許さない状況であり、「来年もこのような状況になれば、休業あるいは廃業をせざるを得ない生産者も出るかもしれない」とのことでした。秋種苗や早期ふ化などにより、母貝不足に緊急な対応を要請するとともに、稚貝の無料配布や補助金を出すなど、資金面からも助成し、今後も稚貝・母貝の安定的な供給ができるよう求めます。

最後に、愛南町海洋資源開発センターでは、環境変化に強い耐性貝の育種や稚貝用餌料プランクトンの生産等に取り組んでいますが、今後も優良な種苗生産に向け、さらなる研究・開発に取り組んでいただきたいと思います。また、海藻のヒロメやマガキ貝、河内晩柑やブロッコリーを餌としたウニの試験的養殖に取り組んでいましたが、今後の真珠母貝生産者の副業、また愛南町の新たな特産品としての開発・活用の可能性に大いに期待します。



議会活性化特別委員会報告

地方分権時代に対応した議会機能の充実と効率的な議会運営等について調査・検討することを目的に、平成30年3月定例会で全会一致で設置した議会活性化特別委員会における調査・検討結果について、土居尚行委員長が報告しました。なお、既に第5回までの中間報告を終えているため、今回は「議員定数・議員報酬等について」の報告のみとなりました。

【調査・検討状況（結果）】

第6回の委員会では、議員定数・議員報酬については、公聴会を開いて意見を聴くという方向で進めていくことを確認しました。

第7回の委員会では、西予市議会を視察し、議員定数・議員報酬の見直しに係る公聴会の開催方法や「定数及び報酬等検討特別委員会」のこれまでの経緯と今後の取り組みについての説明や助言を頂きました。

第8回の委員会では、西予市の状況を踏まえて協議した結果、議員定数・議員報酬の見直しに係る公聴会を開催することを決定しました。

第9回の委員会では、公聴会の開催時期等について、大枠を決定しました。

第10回の委員会では、公聴会の日程や開催方法等について協議・決定しました。

第11回の委員会では、公聴会を開催し、公述人から議員定数・議員報酬に関する意見を聴きました。議員定数については、2名が現状維持、4名が定数を減らすべきとの意見でした。議員報酬については、2名が現状維持、5名が増額すべきとの意見でした。

第12回の委員会では、山梨学院大学教授の江藤俊昭氏を招き、「議員報酬・議員定数について」と「質問のあり方について」の2題をテーマに研修会を開催しました。

第13回の委員会では、議員定数・議員報酬についての検討結果の取りまとめを行い、議員定数については、次の一般選挙から2名減の14名とし、議員報酬については、執行部に対し、合併協議会での議員報酬に関する協議内容を再検証し議会へ報告するとともに、見直すということになっているのであれば、その実行を求めることを全会一致で決定しました。

なお、付託された事件を完了したため、議会活性化特別委員会を終了することも報告しました。



議員派遣結果報告

令和元年12月4日(木)、中村時広^{ときひろ}愛媛県知事に「地域医療構想の適切な進め方と県立南宇和病院の機能強化に関する要望書」を手渡すため議員派遣を行いました。

【派遣結果】

今回の知事要望は、去る9月26日(木)、厚生労働省が、再編・統合の検討が必要な公立・公的病院として愛媛県立南宇和病院の名前を公表したことで、地域住民からの不安や、医療現場からのさまざまな意見が寄せられていることに対し、極めて難しい課題を含んでいることから、地域医療構想の適切な進め方について、愛媛県知事から国に対して地域の声を届けていただき、今後の丁寧な議論となるよう働き掛けていただくことと、これからも引き続き県立南宇和病院の機能強化を図っていただきたい旨の要望を行いました。

これに対し、中村県知事から、「地域医療構想の適切な進め方については、厚生労働省が唐突に公表したことに対し、いまだ詳細な根拠を示しておらず、強い違和感を覚える。今回、地域からも声を届けていただき、併せて知事会でも重要なこととして捉え動きを強めている。特に人命に関わる問題であり、ぜひ町村議会議長会の方でも大いに声を上げていただきたい。特に県立南宇和病院は、圏域の状況からも本当に命の拠点病院であり、全国一律の基準により機械的な数字で議論するものではないということを、こういう機会なので改めて強く声を上げていきたいというふうに思っている。また、県立南宇和病院の機能強化については、ドクターヘリの活用促進に努めるほか、地域医療に携わる研修医に対し、魅力ある環境づくりとして、5Gによる通信手段を活用した最先端の遠隔診療などの可能性を考えている。そうした医師の育成・確保などに努め、地域を支える医療機関として、その機能を強化していくとともに、県立南宇和病院の存続に向けて全力を尽くしていきたい」との心強い返答を頂きました。

えひめの障がい者アート展 ^{すすむ} 齊藤進さん(福浦)のふぐちょうちんが優秀賞受賞

12月に開かれた県内在住の障がいのある方を対象としたアート作品展「えひめの障がい者アート展」(愛媛県主催)で、福浦地区在住の齊藤進^{すすむ}さんが出品したふぐちょうちんが特選に次ぐ優秀賞を受賞しました。

齊藤さんは右腕に障がいを持ちながら、およそ3カ月かけて今回の受賞作品を制作しました。初めての出品で受賞した齊藤さんは、「見る人見る人がすごいなあと喜んでいただいたのが嬉しかった」と喜びを語りました。

“人に笑顔を贈る、福が来る”という想いを込めて15年近くふぐちょうちん作りを続けているという齊藤さんは、「来年はもっと立派な作品を出品して、ぜひ特選を受賞したい」と意気込みを語りました。



受賞後に清水町長を表敬訪問した齊藤進さん(左)



愛媛CATV
動画

失敗しても挑戦を テノヒラのkikuさんが御荘中学生にメッセージ

1月16日(木)に御荘中学校で「テノヒラ講演会」があり、町出身で歌手のkikuさん(テノヒラのボーカル)が全校生徒に歌とメッセージを送りました。

ピアニストの菅原敏^{びん}さんをゲストに迎えてステージに立ったkikuさんは、ゴスペル音楽「アメイジング・グレイス」を歌唱し、その後、立候補した生徒や先生とともに「翼をください」を歌い会場を盛り上げました。

会の最後にkikuさんは、「今のうちにたくさんの経験をして、挑戦と失敗を繰り返してください。自分が転んだときの起き上がり方や、自分を元気にする方法を見付けられると、大人になってからもいろんなことを乗り越えていける。失敗しても良いので今やれることを一つ一つ大事にして、それを続けていってください」と力強く呼びかけました。

参加した御荘中2年生の上田蒼将^{そうまき}さんは、「失敗したときこそ、そこから歩き出していこうというメッセージや歌に感動した」と感想を述べました。



歌を披露するkikuさん



生徒と一緒に歌唱